

# REQUIEM GLORIA

MOZART  
VIVALDI




京都混声合唱団  
85周年演奏会

2010.7.25(Sun.) 14:30  
京都コンサートホール

主催/京都混声合唱団

後援/京都市

京都市芸術文化協会

助成/芸術文化振興基金 

財団法人 ロームミュージックファンデーション

財団法人 三菱 UFJ 信託地域文化財団

## ご挨拶

心を和ますように響く祇園囃子も終わりを迎え、夏本番となって参りました。本日は私たち京都混声合唱団の85周年演奏会にご来聴頂き厚く御礼申し上げます。

モーツァルト「レクイエム」は昭和50年に創立50周年記念演奏会として京都市交響楽団の初協演を頂いて以来3度目の上演となります。この間、アマチュア合唱団の常として団員の出入りが多く世代も交代しましたが、当時からの数少ない在団者と新旧一体となり練習に励んで参りました。一方、ヴィヴァルディ「グローリア」は当団として初めての取り組みです。それぞれの特徴が活かされた表現をお聞き頂ければ幸いに存じます。

また、本年は京都市立芸術大学名誉教授・関西二期会理事長 蔵田裕行先生を常任指揮者に迎えて20年目の節目の年です。幅広くご活躍されているソリストの先生方、5年ぶりの京都市交響楽団のご助力を得て祈りを込めて演奏致します。

音楽を愛する心を糧に、これからも未熟ながら努力を続ける所存でございます。どうぞ忌憚なきご叱声、ご教示を賜りますと共に、本団への変わらぬご支援をお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

平成22年7月25日

京都混声合唱団



第 1 部

A.L. ヴィヴァルディ作曲  
グロリア ニ長調 RV589

A.L. VIVALDI  
GLORIA D-DUR

谷村 由美子 (SOPRANO) 松室 華子 (SOPRANO) 小林 久美子 (ALT)

休 憩

第 2 部

W.A. モーツァルト作曲  
レクイエム KV626

W.A. MOZART  
REQUIEM

谷村 由美子 (SOPRANO) 小林 久美子 (ALT) 北村 敏則 (TENOR) 小玉 晃 (BASS)

指揮 蔵田裕行

合唱 京都混声合唱団

賛助出演 京都バッハ合唱団

管弦楽 京都市交響楽団

## A.L. ヴィヴァルディ 「グローリア」 二長調 RV589

曇りのない二長調の明るさ。その主音上で反復されるオクターヴの跳躍が、心躍る喜びの気分を高める。16小節の前奏に導かれて、やがて沸き起る Gloria! の歓呼。「栄光あれ!」ここで歌われるこの言葉は本来、神の栄光を讃える天使の声に由来するものであるが、この歓喜の叫びに今日、京都混声合唱団が託そうとされるもの、それは恐らく、85年という創立以来の歳月中、そこに集い心を和した数知れない団員の歌声を、時を超えて連綿と繋ぎ続けてきた音楽という、この掛け替えないものに対する賛美と、そして感謝の思いであるに違いありません。

J.S. バッハと正に同じ 18 世紀前半、イタリア・バロックの作曲家としてヴェネツィアで活躍したヴィヴァルディは、生前の名声の高さにもかかわらず、死後はその名前も作品も急速に人々の記憶から失われ、約 200 年の長い眠りについたのであったが、20 世紀に到りその忘却から蘇る大きな契機となったのが、バッハとの幸運な関係であった。18 世紀前半のヴェネツィアは華やかな文化の中心であり、そこに集う多様な傾向の音楽をいち早く自らのものとしていたヴィヴァルディの音楽に強く魅せられたバッハは、その斬新な作曲技法を学ぶためにヴィヴァルディのヴァイオリン協奏曲 10 曲を、オルガンやチェンバロ用の協奏曲に書き直したのであった。この事実がやがて「バッハに影響を与えた作

## W.A. モーツァルト 「レクイエム」 KV626

「死は私たちの生の真の最終目標なので、私はこの数年来、人間のこの真実にして最良の友とすっかり親しくなっています。ですから死の姿は少しも恐ろしくはなく、むしろ心を安らかにし慰めてくれるものなので

曲家」というヴィヴァルディへの評価につながり、その死後およそ 200 年の 1938 年、遂にシエナに「ヴィヴァルディ研究センター」が設立された。そして翌年に開催された「ヴィヴァルディ週間」で演奏され、聴衆の心を強く揺さぶり、その後のヴィヴァルディ復活への道を大きく開いた作品のひとつが、正にこの「グローリア」だったのである。

この作品については、その誕生の時期も目的も分かっていない。歌詞はミサ曲で歌われる 5 部から成るミサ通常文の第 2 部であり、12 に分割されたこの歌詞が全 12 曲に歌い継がれていく。聴く者が心惹かれるのは、多様な手法で展開される、バロック音楽がとりわけ好む対比や変化の楽しみである。冒頭から終曲に到る各曲のテンポが見せる急と緩との交代の快さ、また単純明快な同時的和声進行と隣り合う精緻な模倣対位法、更に力強い合唱に続くのは抒情溢れる独唱や重唱。これは正にイタリア・バロック音楽作品の典型を聴く喜びである。

全曲に漲るもの、それは 25 歳で司祭となったヴィヴァルディの無垢な信仰表明の明るさであろうか。そして彼が曲中にちりばめる心弾む ♪♪ や ♪♪ のリズム、それはバロック音楽が好むリズム型による情緒表現に彼が託した、信じることの抑え難い喜びであるのかも知れない。

音楽に  
「栄光あれ!」

す!」これは死の 4 年前、モーツァルト 31 歳の時の父への手紙の一部である。死が最終の憩いであった彼にとっての生の日々、それはこの手紙と同年に作曲された、あの美しい歌曲「夕べの想い」が歌うように、そ

れは正にさすらいの旅であったのかもしれない——「わたしはこの人生という巡礼の旅を終え、安息の国へと旅立つのだ——」。

彼の 35 年の生涯は、その約半分が文字通りの旅であった。息子に多様な音楽経験を与えようと父によって計画された旅は、モーツァルト 6 歳の時に始まり、その後は 18 世紀後半の音楽の重要拠点であったウィーン、パリ、ロンドン、イタリア、ミュンヘン、プラハへと度重ねられた。彼は行く先々での音楽上の鮮烈な刺激を素早く自らのものとした。旅の馬車の中が彼の作曲の場であった。旅に出ると彼は家族に書いた——「最高に愉快です。心は羽根のように軽やかです」。彼は定住を嫌い、駆り立てられるように移動を欲し、旅が不可能ならせめて住居を移した。最後の地となったウィーンでの 10 年間に、彼は 11 回の引越しをしたとも伝えられている。地上のどこにも定住しようとしなかったモーツァルトは、正に生にも安住し得なかったのであろうか。そして彼に真の安息を与え得るもの、それは死だけであったこと。この「レクイエム」が歌う永遠の憩いへのひたむきな憧れは、その事の明確な証であるとは言えないであろうか。

「今日はひどく気分がすぐれません。昨夜は身体中が痛んで一睡もできませんでした」と始まる死の前年の友人への手紙は、彼の健康の悪化を物語っている。そして翌年、つまり最後の年、モーツァルトは作曲に忙殺されていた。2 つのオペラ、「魔笛」と皇帝レオポルト二世の戴冠式祝賀オペラ「ティトの仁慈」は完成し、上演は成功に終わった。ただこの「レクイエム」が未完であった。1791 年 12 月 4 日、病床に伏すモーツァルトは親しい歌手たちと共に、第 7 曲「Lacrimosa 涙の日」の、それが絶筆となった冒頭 8 小節、あたかもそれは仰ぎ見る永遠の安息への階段を一段、また一段とあえぎつつ登り行くかのような、あの 1 点二音から 2 点イ音に到る 12 度もの上昇音階を涙ながらに歌い終えて、弟子のジュスマイヤーに未完成部分を委ねたと語り伝

## 永遠の安息を祈り求めて



■「ブルグ公園のモーツァルト像」阪哲明撮影

えられている。そして翌 12 月 5 日、彼は遂に永遠の憩いに迎え入れられたのであった。依頼者を知らされぬままに引き受けたこの「レクイエム」は今、正に彼自らのための「レクイエム」となったのであった。

最終曲の末尾を飾る、十字架音型を主題のひとつに持つ二重フーガ「cum sanctis tuis 主の聖人たちと共に、永遠の安息に在らしめ給え」。師の意を受けたジュスマイヤーの筆になる、永遠の憩いへのモーツァルトのこのゆるぎない確信に託される京都混声合唱団の今日の祈り、それは創立以来の長い道のりの中、合唱を愛し、音楽を愛し、そしてモーツァルトを愛して天に旅立たれた幾多の団員の方々、そして天に憩うすべての人々に、まっすぐに届くに違いありません。

牧 マリ子 (元団員)

## GLORIA D-DUR

## グローリア ニ長調

Gloria in excelsis Deo.

いと高きところでは神に栄光あれ。

Et in terra  
pax hominibus bonae voluntatis.

そして地の上では  
善意の人に平和あれ。

Laudamus te. Benedicimus te.  
Adoramus te. Glorificamus te.

われらはあなたを誉め、あなたを讃える。  
あなたを拝し、あなたをあがめる。

Gratias agimus tibi

あなたに感謝したてまつる

propter magnam gloriam tuam.

あなたの大いなる栄光のゆえに。

Domine Deus, Rex coelestis,  
Deus Pater omnipotens.

神なる主、天の王、  
全能の父なる神よ。

Domine Fili unigenite Jesu Christe.

御ひとりごである主、イエス・キリストよ。

Domine Deus, Agnus Dei, Filius Patris.  
Qui tollis peccata mundi,  
miserere nobis.

神なる主、神の子羊、父の御子。  
世の罪を除きたまう方よ  
われらを憐れみたまえ。

Qui tollis peccata mundi,  
suscipe deprecationem nostram.

世の罪を除きたまう方よ  
われらの願いを聞きいれたまえ。

Qui sedes ad dexteram Patris,  
miserere nobis.

父の右に座したまう方よ  
われらを憐れみたまえ。

Quoniam tu solus sanctus,  
tu solus Dominus,  
tu solus Altissimus,  
Jesu Christe.

あなたのみが聖なる方、  
あなたのみが主、  
あなたのみがいと高き方、  
イエス・キリストよ。

Cum Sancto Spiritu in gloria Dei Patris.  
Amen.

聖霊と共に、父なる神の栄光のうちに。  
アーメン

# REQUIEM

# レクイエム

## INTROITUS

### Requiem

Requiem aeternam dona eis Domine:  
et lux perpetua luceat eis.  
Te decet hymnus Deus in Sion,  
et tibi reddetur votum in Jerusalem:  
Exaudi orationem meam,  
ad te omnis caro veniet.  
Requiem aeternam dona eis Domine:  
et lux perpetua luceat eis.

## KYRIE

Kyrie eleison.  
Christe eleison.  
Kyrie eleison.

## SEQUENZ

### Dies irae

Dies irae, dies illa,  
solvat saeculum in favilla:  
teste David cum Sibylla.  
Quantus tremor est futurus,  
quando iudex est venturus,  
cuncta stricte discussurus!

### Tuba mirum

Tuba mirum spargens sonum,  
per sepulchra regionum,  
coget omnes ante thronum.  
Mors stupebit et natura,  
cum resurget creatura,  
judicanti responsura.  
Liber scriptus proferetur,  
in quo totum continetur,  
unde mundus iudicetur.  
Iudex ergo cum sedebit,  
quid-quid latet apparebit:  
nil inultum remanebit.  
Quid sum miser tunc dicturus?  
Quem patronum rogaturus?  
Cum vix justus sit securus.

## 入祭唱

### 永遠の休息

主よ、永遠の休息を彼らに与え  
絶えざる光を彼らの上に照らしたまえ  
主よ、あなたに讃美を捧げるのはシオンにおいて、  
そしてエルサレムではあなたに犠牲を捧げまつる  
われらの祈りを聞きたまえ  
あなたへと全ての肉体は向かい来ます  
主よ、永遠の休息を彼らに与え  
絶えざる光を彼らの上に照らしたまえ

## キリエ

主よ、あわれみたまえ  
キリストよ、あわれみたまえ  
主よ、あわれみたまえ

## 続唱

### 怒りの日

怒りの日である その日は  
この世が灰に帰すべき日  
ダヴィドとシビッラの予言どおりに。  
何と大きな恐怖が差し迫っていることが  
審判者が来たまうとき  
すべてを厳かに正すために！

### ラッパの不思議な響き

この世の墓の上に  
ラッパが不思議な響きを鳴り響かせ  
全ての者を玉座の前に集めるであろう。  
死と自然界は呆然とするであろう  
審判者に応えるために  
被造物（人間）がよみがえるときには。  
書き記された巻物が持ち出されるであろう  
そこにはすべてが記されている  
それによってこの世が裁かれる。  
審判者が（裁きの）座にいますとき  
隠されたことはことごとく知られ  
罰されずに残るものは決してないであろう  
その時、哀れな私は何と言ひ開きしようか？  
どんな弁護者に頼もうか？  
正當に安全でいられることはまず無いのに。

**Rex tremendae**

Rex tremendae majestatis,  
qui salvandos salvas gratis,  
Salva me, fons pietatis.

**Recordare**

Recordare Jesu pie,  
Quod sum causa tuae viae:  
ne me perdas illa die.  
Quaerens me, sedisti lassus:  
redemisti crucem passus:  
tantus labor non sit cassus.  
Juste judex ultionis,  
donum fac remissionis,  
ante diem rationis.  
Ingemisco tamquam reus:  
culpa rubet vultus meus  
supplici parce Deus.  
Qui Mariam absolvisti,  
et latronem exaudisti,  
mihi quoque spem dedisti.  
Preces meae non sunt dignae:  
Sed tu bonus fac benigne,  
ne perenni cremer igne.  
Inter oves locum praesta,  
et ab haedis me sequestra,  
statuens in parte dextra.

**Confutatis**

Confutatis maledictis,  
flammis acribus addictis.  
Voca me cum benedictis.  
Oro supplex et acclinis,  
cor contritum quasi cinis:  
Gere curam mei finis.

**Lacrimosa**

Lacrimosa dies illa,  
qua resurget ex favilla  
judicandus homo reus:  
Huic ergo parce Deus.  
Pie Jesu Domine,  
dona eis requiem.  
Amen

**おそるべき大王**

おそるべき威厳の大王よ  
救おうとするものを御恵みにより救いたもう  
私を救いたまえ あわれみの泉よ

**思いだしたまえ**

思いだしたまえ 慈悲深きイエスよ  
御身が地上にいられた理由についてを、  
その日 私を滅ぼしたまうな。  
私を探し求めて 疲れ果てて座りこまれ  
十字架の苦しみにより私をあがないたもう方よ  
その多大な労苦を空しくしたもうな。  
正義をもて裁きたもう審判者よ  
罪の赦しを与えたまえ  
罪を正される日より先に。  
とがある者のように私は嘆く  
罪が私の顔を赤らめる  
神よ こい願う私を許したまえ  
(マグダラの) マリアの罪を赦し  
盗賊の願いを聞き届けたもう御方は  
私にも同様に望みを与えたもうた。  
私の祈りは価値のあるものではない  
それでも 善なる方よ あわれみをもって  
私を燃えさかる火に追いやりたもうな。  
ひつじの中に (私の) 居場所を与え  
やぎから私を引き離し  
右側 (の義人) の方へ立たせたまえ

**論破して**

悪口を言いたてる者どもを論破して (黙らせ)  
はげしい火の刑に定められるとき  
祝福された者と共に私 (の名) を呼びたまえ。  
ひざを屈し すがりつくように祈りたてまつる  
灰のように砕かれた心を持って。  
終り (の時) に私のことを思い計らいたまえ

**涙の日**

その日こそ涙の日である  
罪ある人が裁かれるために  
灰の中からよみがえるその日。  
願わくば 神よ 彼らを赦したまえ  
主なる慈悲深きイエスよ  
彼らに安息を与えたまえ  
アーメン



**OFFERTORIUM****Domine Jesu**

Domine Jesu Christe, Rex gloriae,  
 libera animas omnium fidelium defunctorum  
 de poenis inferni et de profundo lacu:  
 libera eas de ore leonis,  
 ne absorbeat eas tartarus, ne cadant in obscurum:  
 sed significet sanctus Michael  
 repraesentet eas in lucem sanctam:  
 Quam olim Abrahae promisisti, et semini ejus.

**Hostias**

Hostias et preces tibi Domine laudis offerimus:  
 tu suscipe pro animabus illis,  
 quarum hodie memoriam facimus:  
 fac eas, Domine, de morte transire ad vitam.  
 Quam olim Abrahae promisisti, et semini ejus.

**SANCTUS**

Sanctus, sanctus, sanctus Dominus Deus Sabaoth.  
 Pleni sunt caeli et terra gloria tua.  
 Osanna in excelsis.

**BENEDICTUS**

Benedictus qui venit in nomine Domini.  
 Osanna in excelsis.

**AGNUS DEI**

Agnus Dei, qui tollis peccata mundi:  
 dona eis requiem.  
 Agnus Dei, qui tollis peccata mundi:  
 dona eis requiem.  
 Agnus Dei, qui tollis peccata mundi:  
 dona eis requiem sempiternam.

**COMMUNIO****Lux aeterna**

Lux aeterna luceat eis, Domine:  
 cum sanctis tuis in aeternum, quia pius es.  
 Lux aeterna luceat eis, Domine:  
 cum sanctis tuis in aeternum, quia pius es.  
 Requiem aeternam dona eis Domine,  
 et lux perpetua luceat eis.  
 Cum sanctis tuis in aeternum, quia pius es.

**奉納唱****主イエス**

主 イエス・キリスト 栄光の王よ  
 死したすべての信者の魂を  
 地獄の罰と底のない深淵とから救いだし  
 彼ら（の魂）を獅子の口から解き放ち  
 彼らを冥府に落とさず 闇に投げ込みたまうな  
 そうではなく 旗手ミカエルが  
 彼らを聖なる光に導かれるように  
 昔アブラハムとその子孫に約束されたように。

**いけにえ**

主よ あなたを称え生け贄と祈りとを捧げまつる  
 靈魂のためにこれを受け入れたまえ  
 本日記念している靈魂のために。  
 主よ 彼らを死から生命へと移したまえ  
 その昔アブラハムとその子孫とに約束されたように。

**聖なるかな**

聖なるかな 聖なるかな 聖なるかな 主なる万軍の神  
 あなたの栄光は天地に満ち溢れる  
 いと高きところに オザンナ

**祝福あれ**

祝福あれ 主の御名によって来たる者に  
 いと高きところに オザンナ

**神の子羊**

神の子羊 世の罪を取り除きたまう主よ  
 彼らに安息を与えたまえ  
 神の子羊 世の罪を取り除きたまう主よ  
 彼らに安息を与えたまえ  
 神の子羊 世の罪を取り除きたまう主よ  
 彼らにいついつまでも安息を与えたまえ

**聖体拝領唱****永遠の光明**

主よ 永遠の光明を彼らの上に輝かせたまえ  
 あなたの聖人らと共に永遠に、慈悲深き主よ  
 主よ 永遠の光明を彼らの上に輝かせたまえ  
 あなたの聖人らと共に永遠に、慈悲深き主よ  
 永遠の休息を彼らに与えたまえ、主よ  
 そして絶えざる光を彼らの上に照らしたまえ  
 あなたの聖人らと共に永遠に、慈悲深き主よ。



### 蔵田 裕行 ◇指揮 *Hiroyuki Kurata*

京都市立音楽短期大学卒業。東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。同大学院音楽研究科独唱専攻修了。オーストリア政府給費留学生としてウィーンに留学。ウィーン国立音楽大学オペラ科、リート・オラトリオ科首席卒業。最優秀賞受賞。在欧中、ウィーンアカデミー室内合唱団員として活躍したほか、1976年ウィーン音楽祭、オーストリア初演ハイドン作曲「オルフェとエウリディーチェ」にてソリストとしてジョン・サザーランド、ニコライ・ゲッダと共演。帰国後はリサイタル、オペラ、オラトリオと多方面にわたって活躍するほか、1968年～2001年京都市立芸術大学での教育活動により数多くの優秀な人材を育成した。1996年～2000年同大学音楽学部長。1987年「藤堂音楽褒賞」、2001年「京都市文化功労者」。NHK京都文化センター講師。京都市立芸術大学名誉教授。一般社団法人関西二期会理事長。日本シューベルト協会会長。財団法人東京二期会理事。日本オペラ連盟副理事長。1991年より京都混声合唱団常任指揮者。



### 谷村 由美子 ◇ソプラノ *Yumiko Tanimura*

京都市生まれ。京都市立芸術大学、同大学院首席修了。2年間びわ湖ホール声楽アンサンブル専属メンバーとして活躍後、2001年より奨学金を得てパリ国立高等音楽院(CNSMDP)大学院課程に留学。その後パリ国立地方音楽院(CNR)では古楽演奏のディプロムも取得する。

バロックから現代まで幅広いレパートリーをもち、フランスはもとよりヨーロッパ各地、日本においてリサイタル、宗教曲のソリストとして活躍し、著名な音楽家とも数多く共演する。特にM.コルボ指揮・ローザヌ声楽アンサンブルとは、2004年のマタイ受難曲日本ツアーを皮切りに、指揮者の信頼を得て各地の主要なフェスティバル、フォルジュルネ音楽祭などでも度々共演している。2008年には佐渡裕指揮、ラムルー管弦楽団の定期演奏会にソリストとして抜擢され、パリ、シャンゼリゼ劇場でのデビューを果たす。2010年2月には沼尻竜典指揮・大阪センチュリーオーケストラ創立20周年記念演奏会のオネゲル「火刑台上のジャンヌダルク」にも聖処女・天の声で出演した。また、現代を代表する作曲家G.クルタークやH.デュティユとも親交があり、フランス、ドイツにおいて記念演奏会に出演した。「ピエール・ベルナック声楽コンクール」、「リリー&ナディア・ブーランジュ国際コンクール」、「リヨン国際室内楽コンクール」のそれぞれに優勝、「エリザベト国際コンクール」セミファイナリスト、「日本音楽コンクール」入選など数多くのコンクールで優秀な成績を収め、各方面より高い評価を得る。京都青山音楽賞、京都市芸術新人賞受賞。京都市立芸術大学専任講師を経て、現在は日本とヨーロッパを中心に音楽活動を展開している。



### 松室 華子 ◇ソプラノ *Hanako Matsumuro*

京都女子高校を経て、京都市立芸術大学卒業。同大学院修了。首席修了にて大学院賞受賞。宝塚バガ音楽コンクール第一位、並びに兵庫県知事賞受賞。J.S.G.国際歌曲コンクール第二位。飯塚新人音楽コンクール入選。トスティ歌曲国際コンクール日本予選大会入選。

'97、'98、オーディションに合格し、奨学金を得て、バーンスタインの創設した国際音楽祭、パシフィック・ミュージック・フェスティバル(PMF)に参加する。'00、東京混声合唱団より招待を受け、ヨーロッパツアー(エストニア、フィンランド)に参加。笹川日仏財団「若手芸術家のための、パリ滞在研修オーディション」に合格し、同財団より奨学金を得て、'02よりパリ市立シャトレ劇場研修生として留学。同劇場音楽監督S・ヴァタン氏に師事し、歌曲、重唱、オペラ等を学ぶ。アテネ劇場、日本大使館、ソルボンヌ大学等、フランス各地でコンサートに出演。また、シャトレ劇場においてリサイタルを行う。

'03よりミュンヘンに留学し、ミュンヘン国立音楽大学講師で、W.マイヤーをはじめとする著名歌手の伴奏者として活躍するJ.ブラインル氏のもとで、ドイツ歌曲を中心に研鑽を積む。フランス、ドイツ、京都、奈良、東京でリサイタルを行った他、フォーレ「レクイエム」、ラター「レクイエム」、ヴィヴァルディ「グロリア・ミサ」、シューベルト「ミサ曲変イ長調」、バッハ「カンタータ」、ベートーベン「第九」等のソロや、オペラにおけるソリストとして、京都市交響楽団、京都パッサゾリストン、大阪チェンバーオーケストラ、アンサンブル神戸等と共演している。芸術祭典京都「求女塚」、「フィガロの結婚どすえ」に出演。

これまでに、井上久美子、北村敏則、松本美和子、蔵田裕行、A.アメリック、R.ヤンセンの各氏に師事。京都芸術祭聴衆審査賞受賞。日本シューベルト協会同人。京都音楽家クラブ会員。京都市立芸術大学音楽教育研究会非常勤講師。



## 小林 久美子 ◇メゾソプラノ *Kumiko Kobayashi*

岡山県立岡山城東高等学校卒業。京都市立芸術大学卒業。卒業演奏会に出演。同大学院修了。第2回ノーヴィイ国際音楽コンクール声楽部門第1位。第1回東京国際声楽コンクール一般の部第1位、東京都荒川区長賞受賞。

オペラでは「カルメン」タイトルロール、「セヴィリアの理髪師」ロジーナ、「フィガロの結婚」マルチェリーナ、「リゴレット」マッダレーナ、「秘密の結婚」フィダルマ、「魔笛」侍女Ⅲ、「サロメ」ヘロディアスの小姓など様々な作品で多様な役柄を演じている。また、2008年11月びわ湖ホール声楽アンサンブル第40回定期公演「ディードーとエネアス（演奏会形式）」ではディードーを歌い、NHKBS-hi『ハイビジョンクラシック倶楽部』のためにスタジオ収録、数回放映された。演奏会では「メサイア」、「第九」、「レクイエム」の他、「恋は魔術師」のソリストをつとめるなど、各種演奏会に出演している。NHK-FM『名曲リサイタル』に出演。

1999年6月から2009年3月末までの10年間、びわ湖ホール声楽アンサンブル正規メンバーとして活動、現在、びわ湖ホール声楽アンサンブル・ソロ登録メンバー。ヴォーカルアンサンブル Kyoto メンバー。ヴォーカルアンサンブル津山登録団員。



## 北村 敏則 ◇テノール *Toshinori Kitamura*

京都市立芸術大学声楽専攻卒業。同大学院修了後ウィーン留学。音楽学部賞及び大学院賞を受賞。佐々木成子、蔵田裕行、田原祥一郎、K・エクヴィルツ、E・ヴェルバの各氏に師事。1988年第2回日本シューベルト協会（J.S.G）国際歌曲コンクール第1位、及び聴衆審査特別賞受賞。1990年第6回ボルツァーノ（北イタリア）歌曲コンクール第1位、及びアダ・ヴェルバ賞受賞。1991年第1回青山音楽賞受賞。1995年京都市芸術新人賞受賞。1994年姫路城世界文化遺産指定記念イベント、オペラ「おなつ・清十郎」の清十郎役に抜擢されオペラデビューを果たす。以後、中国二期会「魔笛」「こうもり」、倉敷音楽祭オペラ「ボエーム」、びわ湖市民オペラ「シンデレラ」「マルタ」「ジプシー男爵」「フィガロの結婚」にいずれも客演として出演。関西二期会では2006年に「魔笛」でデビュー、続いて「愛の妙薬」「ナクソス島のアリアドネ」に出演。ドイツ、イタリア、オーストリアでのオペラ公演参加をはじめ、国内外でのリサイタル、日本各地でのコンサートに多数出演。特にオラトリオには定評があり、「メサイア」「四季」「天地創造」「パウロ」「ミサ・ソレムニス」等のソリストとして、またその中でも「ヨハネ・マタイ受難曲」のエヴァンゲリストとしては高い評価を得ている。2000年、東京芸術劇場で「マタイ受難曲」のエヴァンゲリストを務めた際にはP・シュライヤーの再来と評され熱狂的に受け入れられた。CDでは日紫喜恵美氏とのジョイントで「モーツァルトの世界」をリリース。また作曲家平田あゆみ氏と「うたう劇場」を立ち上げ、日本語による各種声楽曲を精力的に発表し、好評を得ている。現在、京都市立芸術大学講師。日本シューベルト協会会員、関西二期会会員。



## 小玉 晃 ◇バス *Akira Kodama*

京都市立芸術大学大学院修了後、渡奥。ウィーン国立音楽大学リート・オラトリオ科卒業。在学中、オーストリア政府より奨学金を受ける。リート・オラトリオをW. モーア、オペラをR. ニックラー、発声を宮廷歌手M. ニコロヴァに師事。在欧中、シューベルトの歌曲集『冬の旅』などによるリサイタルの他、多数の演奏会に出演。シュトゥットガルト・バッハアカデミーに参加。バッハ演奏法を宮廷歌手W. シェーネに学び、H. リリングによるゲシュプレヘスコンツェルトにおいてソリストを務める。バッハを始めとするバロック作品の歌唱法及び解釈をM. ファン・エグモントに、ドイツ・リート解釈をH. ホッター、E. アメリング、E. ヘフリガー、W. ベリー、H. ドイツ、J. デームス、A. ヤンセン他に学ぶ。ベートーヴェン『第九』、『ミサ・ソレムニス』、バッハ『マタイ受難曲』、『ヨハネ受難曲』、『クリスマス・オラトリオ』、『ロ短調ミサ』、『カンタータ』、ヘンデル『メサイア』、モーツァルト『レクイエム』、ブラームス『ドイツ・レクイエム』、フォーレ『レクイエム』他、ソリストを数多く務める。

99年、5年間に渡る留学から帰国し、ブラームスの歌曲集『美しきマゲローネのロマンス』全曲による帰国記念リサイタル、イシハラホールの企画で『冬の旅』によるリサイタルを開催するなど、以来特にドイツリート、宗教曲の分野で活躍。日本ドイツリート協会では副会長として、リートの魅力をより多くの人々に伝えるべく活動している。理論に基づいた発声指導には定評があり、多方面からの指導依頼も多い。

J.S.G. 国際歌曲コンクール第1位。全日本学生音楽コンクール大阪大会 大学・一般の部第1位。青山音楽賞、松方ホール音楽賞大賞他受賞。関西二期会会員。MBS 子供音楽コンクール審査員。京響市民合唱団、バナソニック合唱団他指導者。大阪音楽大学、同志社女子大学講師。http://a-kodama.com



## 京都バッハ合唱団 *Kyoto Bach Chor*

1988年に本山秀毅の主宰により創立以来、バッハを中心とする教会音楽の多角的な理解を目指し、活発な演奏活動を展開している。解説を伴った演奏会形式「ゲシュプレヘスコンツェルト」を続けるほか、1991、1998年には、同志社栄光館において、ライブツィツヒ聖トーマス教会のペッツォールト教授と共に「バッハ時代の歴史的礼拝の復元」に取り組んだのをはじめ、合唱指導者の研鑽を目的としたコーラスワークショップ活動を展開するなど、演奏会の枠を超えたユニークかつアカデミックな活動を展開している。2000年10月に行われた特別演奏会におけるバッハ「マタイ受難曲」演奏は高い評価を受け、大阪府文化祭奨励賞を受賞した。

また、1995年に戦後50年を記念するオレゴン・バッハ・フェスティバルへ招かれ、ドイツ・アメリカの演奏家とともにプリテン「戦争レクイエム」を演奏したのをはじめ、2002年5月には、ライブツィツヒバッハフェスティバルに参加。バッハ「ト短調ミサ」を演奏し、好評を博した。1992年、1994年、2002年の3度にわたるヨーロッパ演奏旅行、1996年フライブルグ声楽アンサンブルの単独招聘によるジョイント演奏会など、海外の演奏家との交流も盛んに行っている。

## 京都市交響楽団 *Kyoto Symphony Orchestra*

京都市交響楽団（京響）は、1956年の創立以来、日本唯一の自治体直営オーケストラとして「市民文化の形成と青少年の情操の向上、住民の福利の増進に資する」という理念に基づいて、我が国を代表するオーケストラとして成長を遂げてきた。06年には創立50周年を迎え、シェーンベルク「グレの歌」京都初演、国内7都市へのコンサート・ツアーなどで成功をおさめた。また、京都市ジュニアオーケストラの指導、楽器講習会や音楽鑑賞教室、福祉施設への訪問演奏などにも積極的に取り組み、07年「第25回京都府文化賞特別功労賞」「京都創造者大賞2007」受賞。08年4月からは、第12代常任指揮者に広上淳一、京響初の桂冠指揮者に大友直人が就任。09年は、学生からシニアまで気軽にクラシック音楽に親しむことができる「スプリング・コンサート」、子どもはもちろん大人にもぴったりのオーケストラ入門シリーズ「オーケストラ・ディスカバー」など新たな企画で注目を集めた。半世紀という節目を経て、「京響」は今、文化芸術都市・京都にふさわしい「世界に誇れるオーケストラ」を目指して更なる前進をはかっている。

ご婚礼家具・和洋家具・室内装飾

創業 1856 年  株式会社 宮崎

〒604-0805 京都市中京区夷川堺町西入  
電話 075-231-6337 FAX 075-231-1230

E-mail [kyouto-ebisugawa@miyazakikagu.com](mailto:kyouto-ebisugawa@miyazakikagu.com)

URL <http://www.miyazakikagu.com/>

## 京都混声合唱団

1925年、東京音楽学校（現東京芸術大学音楽学部）第1期生の稲畑登美子、同志社女子専門学部で音楽を教えていた柳兼子（柳宗悦夫人、日本音楽界の草分け）ら音楽の専門家が集い、「音楽らしい音楽を京都に」という声を上げたのが当団の興りです。翌'26年、京都在住の「同声会」（東京音楽学校同窓会）メンバーに音楽愛好家が加わり、本格的な混声合唱団が誕生しました。'29年に指揮者に迎えたソ連出身のエフゲン・クレーンは、世界的舞踊家イサドラ・ダンカンの伴奏指揮をはじめ、ハルピンシンフォニーの主任指揮者などを務めた人物です。これを機に宗教曲やオペラなどの大曲、難曲への取り組みが始まり、京都混声合唱団の活動スタイルの基礎が築かれていきました。

太平洋戦争中はやむなく活動休止に追い込まれましたが、戦後はいち早く'45年12月に演奏活動を再開しました。'51年6月には関西交響楽団定期演奏会に、京都合唱連盟の一員として参加。このとき演奏した「第九」は京都の合唱団による初演でした。同年8月には当団単独でフォーレの「レクイエム」を演奏。同作品の関西初演となり、NHK京都放送局によって全国に中継放送されました。

創立時は音楽の専門教育を受けた者の集団でしたが、戦争中の団員減少によって推薦制度によるアマチュアの受け入れを開始し、戦後は本格的にアマチュア合唱団としての組織づくりを進

めました。'91年に蔵田裕行を常任指揮者に迎えたことを契機に、以後は京都市立芸術大学音楽学部関係者の方々からますます大きなお力添えをいただいています。

一方で近年は、小曲の構成による定期演奏会や他県の団体との交流演奏会にも取り組んでいます。2009年には定期演奏会のほか、関西二期会のオペラ公演「フィデリオ」、京都フィルハーモニー定期演奏会「第九」に参加するなど精力的な活動を行い、プロの音楽づくりの厳しさを間近に見る貴重な経験となりました。今後も蔵田裕行の指導のもと、幅広い活動を継続していく予定です。



↑「蔵田裕行常任指揮者就任披露演奏会」（1992年）  
←草創期のメンバー（1927年）

## 2000年以降の主要演奏会

## ■2009.4.18 定期演奏会

(会場：京都こども文化会館 エンゼルハウス)  
F. メンデルスゾーン<Sechs Lieder im Freien zu singen> op.48 / 中田喜直<午後の庭園> / F. P. シューベルト<ミサ曲 変イ長調> D678

## ■2007.7.21 定期演奏会

(会場：京都府立府民ホール アルティ)  
W. A. モーツァルト<ミサ・プレビス 二長調 KV194> / 池辺晋一郎<円形の天地…京都から> / G. フォーレ<レクイエム>

## ■2006.11.11 京都音楽家クラブ創立 50 周年記念演奏会 (会場：京都コンサートホール 大ホール)

J. シュトラウスⅡ喜歌劇<こうもり>より  
指揮：阪 哲朗  
管弦楽：京都フィルハーモニー室内合奏団

## ■2005.11.13 創立 80 周年記念演奏会

(会場：京都コンサートホール 大ホール)  
バッハ<口短調ミサ>  
管弦楽：京都市交響楽団

## ■2003.9.14 定期演奏会

(会場：京都コンサートホール 小ホール)  
高田三郎合唱曲集より<啄木短歌集>全8曲  
/ W. A. モーツァルト<ヴェスプレ ハ長調> K.399 / M. デュリュフレ<レクイエム>

## ■2002.8.31 特別演奏会

(会場：京都コンサートホール 大ホール)  
ベートーベン<荘厳ミサ> 指揮：阪 哲朗  
管弦楽：京都市交響楽団

## ■2000.9.2 定期演奏会

(会場：京都コンサートホール 大ホール)  
ヘンデル<メサイア>  
管弦楽：京都市交響楽団



藤 美千代

ヴォイストレーナー (ソプラノ)

同志社大学文学部英文学科卒業。3年半の会社勤務を経て、京都市立芸術大学音楽学部声楽専修に進学、1998年卒業。第9回P. I. A. JAPAN音楽コンクールドイツリート部門銀賞。現在、ドイツリート、フランス歌曲、日本歌曲の幅広いジャンルで精力的に演奏活動を行っている。オペラにも多数出演。また、アマチュア時代より多くの合唱音楽に携わり、殊に宗教音楽に造詣が深い。自宅にてヴォイストレーニング教室開催。声楽はこれまでに山田実、故・手島孝教、松下悦子の各氏に師事。現在は蔵田裕行氏に、また歌曲解釈を益子明美氏に、日本歌曲を関定子氏に学ぶ。関西二期会準会員。



宮北 昌子

ピアノ

京都市立堀川高校音楽科(現・京都市立京都堀川音楽高等学校)を経て、京都市立芸術大学音楽学部音楽科ピアノ専攻卒業。ザルツブルク・モーツァルテウム音楽院マスタークラスに参加、セルジオ・ベルティカローリ教授の講座を修了、修了演奏会に出演。ピアノ・ソロ、デュオ、声楽・弦・管・打楽器とのアンサンブル、伴奏で多数の演奏会に出演。ピアノを山田淳子、故岩淵洋子、故マックス・エッガーの各氏に、チェンバロを春山操氏に師事。

1988年より京都混声合唱団ピアニスト。

## Culture Room COSMOS

カルチャールーム コスモス

少人数制の教室です

- ・和菓子・洋菓子
- ・フラワーアレンジメント

入会随時受付中

京都市左京区松ヶ崎  
Tel : 075-723-7330

<http://www16.ocn.ne.jp/~cosmoskn/>

京甘味専門店



<http://www.tsukigase.jp/>

**本店**

京都市中京区河原町通  
四条上ル二筋目東入ル  
営業時間 正午から午後7時30分  
定休日 水曜日  
電話 075(221)4104

**堺町店**

京都市中京区堺町通御池下ル  
(アーバンライフフォルムス  
烏丸御池1階)  
営業時間 午前11時から午後7時  
定休日 水曜日  
電話 075(212)1959

**高島屋店**

高島屋京都店5階  
営業時間 午前10時から午後8時  
電話 075(221)8811



# 亀かさ

京都市中京区姉小路通烏丸東入る 電話・FAX 075-221-5110

## さかの温泉 天山の湯

### 入館料

大人:¥1000 小人:¥500

一般会員:¥900

KYODOライフ会員:¥700

(3歳未満のお子様は無料)

営業時間:AM10:00~AM1:00

最終受付:AM0:00



毎月第3月曜日は  
定休日となります。  
(祝祭日の場合は翌日となります)

京都市右京区嵯峨野宮ノ元町55-4

【お問い合わせTEL】 075-882-4126

【お問い合わせMail】 info@ndg.jp

【ホームページ】 <http://www.ndg.jp/tenzan/>







明星電工 株式会社

省エネ、オール電化のことなら

◎創業 40 年◎

# 明星電工株式会社

〒616-8102 京都市右京区太秦森ヶ東町 21-11

明星電工  
省エネセンター



0120-703-117

<http://www.myojyo-denko.co.jp/>

お気軽にお問い合わせください

スナック

# このみ

京都市右京区常盤西町 17

電話 075 (871) 9311

## 楽譜のお届けサービス

ご注文後すぐに楽譜がお手元に届きます。

合唱譜なら…

*Pana musica co.,ltd.*

〒617-0826 京都府長岡京市開田 3-2-3

☎ 075-952-8762 FAX 075-951-8762

E-mail: office@panamusica.co.jp ホームページ <http://www.panamusica.co.jp>

●さく井工事 (井戸工事) ポンプ工事●

株式会社

# 甲田工業所

代表取締役 甲田 忠司

京都市伏見区紺屋町 191

TEL. 075-601-1039 (代)

<http://www.koda-kogyosho.co.jp/>



おかげさまで70周年

70<sup>th</sup>

一緒にうれしい

On Your Side



京都

中央信用金庫

みなさまのすぐとりに  
京都中央信用金庫がいます。

本店/京都市下京区四条通烏丸西入ル

☎ 075(223)2525

FAX 0120-201-580 (フリーダイヤル  
当金庫営業エリアのみ)

www.chushin.co.jp

湯の泉  
すいせん



〒621-0034

京都府亀岡市湯の花温泉郷

TEL. 0771-22-7575

FAX. 0771-22-7577

<http://www.spa-suisen.co.jp/>

地質・土質・地下水調査・土壌汚染調査・さく井工事

株式会社 総合技術コンサルタント

代表取締役

よね つか  
米塚 充

京都本社

〒601-8304 京都市南区吉祥院前河原町1番地

TEL 075-312-0653 FAX 075-312-0636

e-mail : info@kk-sgc.co.jp

祝

京都混声合唱団

85周年演奏会

株式会社 一木楽器

TEL (075)414-0092

男声合唱団 Eleisons  
男声合唱団 Eleisons

第9回演奏会

2010年11月13日 場所：京都コンサートホール ムラタホール

団員募集中！

私達と一緒に歌いませんか？

隔週土曜日 午後6時30分～午後8時マテ

HP <http://www.eleisons.org/>

練習場所：カトリック西陣教会

Mail [may31hide@yahoo.co.jp](mailto:may31hide@yahoo.co.jp)

たつきのとき

# 龍野乃刻



《通販限定》

## ただいま樽にて、熟成中。

ご予約  
受付中

淡口醤油をつくり続けて三四〇年の  
ヒガシマル醤油が生み出した伝統製法と最新技術が  
融合した極上の淡口醤油「龍野乃刻」。  
昨年は大好評をいただき、早々に売り切れとなりました。  
選びに選んだ国産原料と甘酒二段仕込み製法で、  
ただいまじっくり熟成中の二〇一〇年度「龍野乃刻」。  
この秋には、搾りたてをお届けします。



限定醸造淡口醤油 **龍野乃刻**

●310ml/2本 1,785円 ●310ml/6本 5,250円  
(いずれも税込・送料別)

原料はすべて播磨産を使用しています。  
「龍野乃刻」はヒガシマル醤油株式会社の登録商標です。

☎ **0120-168-014** 受付時間 9:00~17:00 (土・日・祝日除く)

**FAX. 0791-63-9065**  
インターネット: [www.higashimaru.co.jp/](http://www.higashimaru.co.jp/)

●予定数が限定数に達した場合、または締め切り時期(10月末)を過ぎた場合は、お申し込みを締め切らせていただきます。●お届けは2010年11月上旬から(お届けが前後する場合がございます。あらかじめご了承ください。)●お支払いはお届けの振込用紙で、商品到着後14日以内にお近くのコンビニエンスストア・郵便局でお願いします。※代金引換にてお支払いをお願いする場合があります。●送料は全国一律500円 ※同一お届け先の場合は、数に関係なく送料は変わりません。●返品・交換は、商品到着後から7日以内にご返送ください。お客様のご都合により返品・交換される場合は、商品未開封のみとし、送料はお客様のご負担とさせていただきますのでご了承ください。●お客様の個人情報は、厳重な管理の上、商品のお届けや、ヒガシマル商品・キャンペーン等のご案内に使用させていただきます。

**東ヒガシマル醤油株式会社**

〒679-4167 兵庫県たつの市龍野町富永 100-3  
「通販」係 ☎0791-63-4685





京都混声合唱団 <http://kyou-kon.jp>

